

令和5年度 第2回板倉区地域協議会 次第

日時：令和5年5月18日(木)
午後6時～

場所：板倉コミュニティプラザ
201・202会議室

- 1 開 会

- 2 会長あいさつ

- 3 所長あいさつ

- 4 自主的審議事項
 - ・板倉区の未来を拓く観光について

- 5 そ の 他
 - ・地域自治の推進に向けたヒアリング調査について

- 6 閉 会

自主的審議事項「板倉区の未来を拓く観光について」

(1) これまでの話し合いのまとめ

【板倉区にとって観光とは】

目 標

- ・特別に大規模な観光開発を伴うものではなく、今ある地域資源（歴史、文化、自然）を活かして、市内外からの来訪者にもてなし、楽しんでもらうもの

要 素

- ・日常から離れて、歴史や文化に触れたり、里山の風景を楽しんだり、美味しいものや、買い物をすることで、心身のリフレッシュができる。
- ・交流人口の拡大を促進することで、地域に賑わいをもたらし、地元の商店に立ち寄る人が増え、活性化につながる。

目 的

- ・住民自らが板倉区の魅力を再発見し、情報発信することで、ふるさとに愛着や誇りを持つことができる。

「板倉区の地域活性化の方向性」

板倉区の豊かな自然や文化、長い歴史をいかして、そこで暮らす人が誇りや愛着をもち、訪れる人が楽しめる地域づくりを目指します。

○構成要素

- ・米や蕎麦などの農作物の美味しさや魅力の発信
- ・豊かな自然環境や歴史文化をいかした企画
- ・美しい景観や里山風景を守る
- ・子どもたちに板倉を愛する心を育てる
- ・冬期間の安心安全な暮らしの推進
- ・「板倉に住みたい」「板倉に住み続けたい」と思えるような、地域づくり

(2) 各部会での意見「課題及び課題解決のための方策について」

<p>地域振興部会 (R5.1.31 開催)</p> <ul style="list-style-type: none">・組織の一本化についての課題解決にはマンパワーが足りない。・ゑしんの里観光公社にもっと頑張って欲しい。コーディネーターが必要ではないか。・地域おこし協力隊に協力して貰ったらどうか。・昔に比べると、生涯学習サークルが減ったと感じる。・SNS でもっと板倉の情報発信をした方がよい。・光ヶ原で夏にヒルクライム、冬にスノーモービルができないか。・まずは組織をどうするか。その後に具体策について協議すべきである。
<p>健康福祉部会 (R5.2.3 開催)</p> <ul style="list-style-type: none">・観光というより、今ある板倉区の資源を守ることが大切である。・光ヶ原高原に関しては、蕎麦や小麦を栽培するなど、観光地ではなくて細々とやっていくしかない。・観光に関しては、ゑしんの里観光公社が窓口でありイニシアチブをとってもらえないが、マンパワーが足りないので実践するのは板倉まちづくり振興会ではないか。・ゑしんの里観光公社、板倉まちづくり振興会、いたくら夢創會の取組について勉強したが、各々ニュアンスが違うので、地域協議会が中に入って、話し合うべきだ。
<p>産業建設部会 (R5.2.6 開催)</p> <ul style="list-style-type: none">・板倉区の活性化の方向性を元に話し合うべきだ。・やすらぎ荘を通年で利用できるようにするべきだ。・冬のイベントが欲しい。寺野遊雪まつりが無いのは寂しい。どんど焼きをしなくなった町内もある。・フリマを各地区で持ち回りで行い、野菜や山菜など販売したらどうか。(ゑしんの里記念館、針のジェラート屋の横のスペース、やすらぎ荘など)・板倉区全体のマップ、パンフが欲しい。(公のもの)・地域協議会が中心となり令和6年に向けて地域独自の予算を提案する。

地域活性化のための取組について

○目的

地域資源を活かし、交流人口を増やす。

○今年度の取組（地域おこし協力隊が地元団体と一緒に挙る）

・いたくら芝桜まつり

期 間：4月22日（土）～5月7日（日）

会 場：ゑしんの里やすらぎ荘周辺

主 体：みどりやすらぎグループ

来場者：約1万人

・YAWAYAWAマーケット

日 時：5月27日（土）午前10時～午後4時、9月23日（土）

会 場：ゑしんの里記念館

・その他

歴史探訪ツアー

遊雪まつり など

○来年度の取組アイデア

・いたくら芝桜まつり

・YAWAYAWAマーケット

・遊雪まつり

・歴史探訪ツアー

継続していきたい…。

・その他

ヒルクライムレース…スタートは総合事務所付近、ゴールは光ヶ原高原
光ヶ原高原に向かう板倉の景観をPR
地域の皆さんで協力して応援してもらおう。

（地域おこし協力隊 福井）

ヒアリング調査の項目

地域の活動団体（公的活動の充実など）

- ① お住まいの地域において、現在どのような活動を行っていますか。また、現在の活動において困っていることはありますか。
- ② 地域の団体の活動をさらに充実させるために、何が必要だと思いますか。
- ③ 他の団体と連携した取組はありますか。
- ④ 地域を活性化するための具体的なアイデアはありますか。

地域協議会（地域の中での役割など）

- ⑤ 地域協議会は、地域の中でどのような役割を果たしてほしいですか。
- ⑥ 現在の地域協議会に関する問題点や課題と感じていることはありますか。
- ⑦ 地域協議会委員にはどのような人材の参画が必要だと思いますか。
- ⑧ 地域の多様な意見を把握するためにどうすればよいと思いますか。

総合事務所・まちづくりセンター（地域との関わり方など）

- ⑨ 総合事務所等にどのような役割を期待していますか。
- ⑩ 総合事務所等の問題点や足りない機能はありますか。
- ⑪ 今の総合事務所等における地域との関わり方をどのように思いますか。

区域（団体間で連携しやすい範囲など）

- ⑫ 地域のことは地域で考え、決め、実行する場合、どのような区域の範囲がふさわしいと思いますか。
- ⑬ その理由を教えてください。

地域独自の予算（制度、運用の課題、改善点など）

- ⑭ 地域独自の予算について知っていますか。
- ⑮ 今後活用してみたいと思いますか。
- ⑯ 制度や運用において改善点はありますか。

板倉区の将来推計人口について（参考資料）

（地域自治の理想的な姿（素案）の検討に係るヒアリング調査）

<将来推計人口データ>

別紙のとおり

※10年後や20年度の地域自治の理想的な姿を描く際の基礎的なデータの一つとして
当資料を添付いたしますので、参考情報としてご活用ください。

（出典）人口・世帯に関する基礎データ集（令和4年9月改定）上越市創造行政研究所

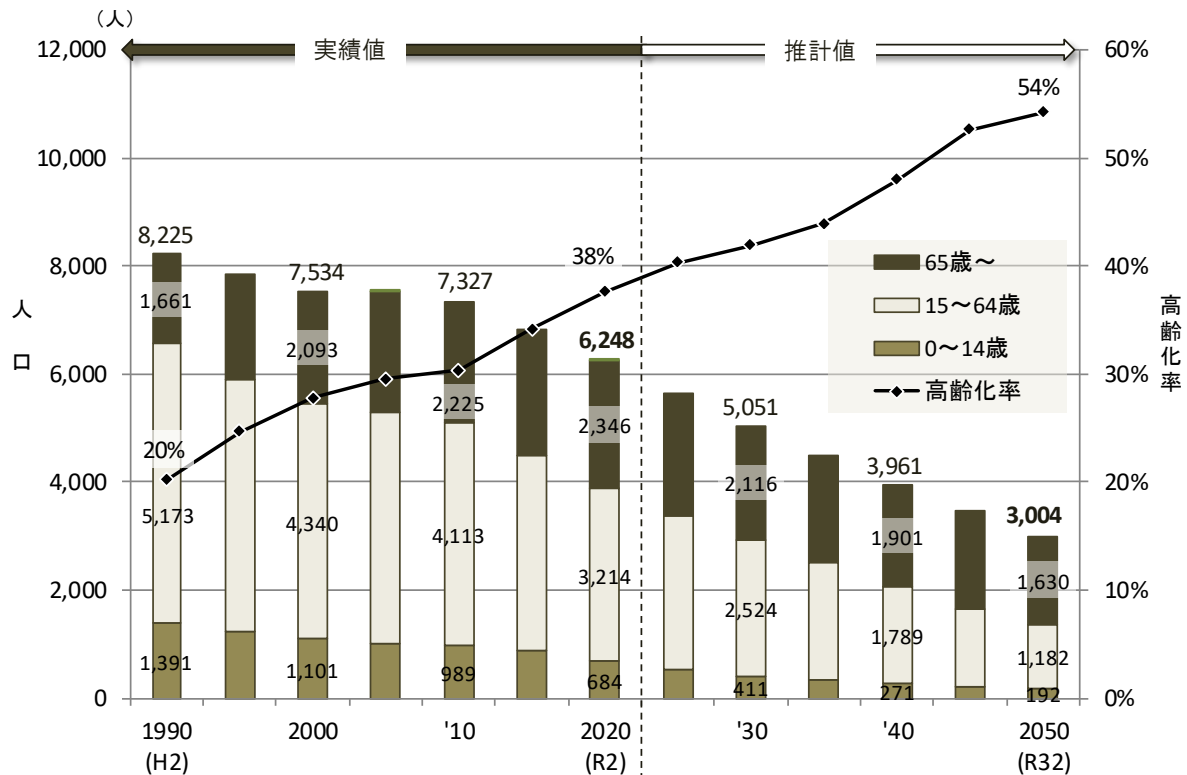
3 将来人口推計

● 区の将来人口はこのままのペースでいくとどうなるか？ 少し頑張るとどうか？

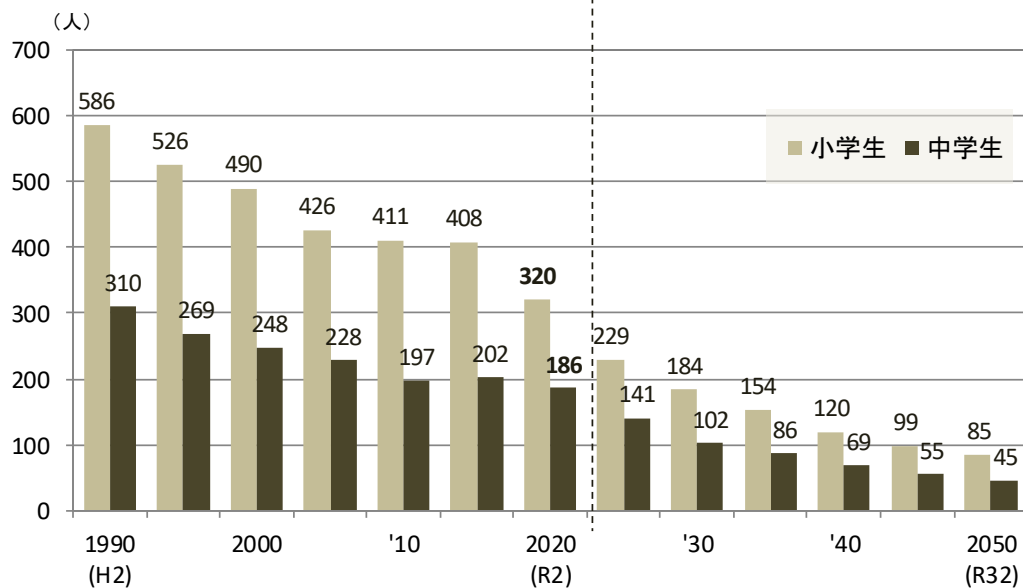
図9 シナリオ1 最近の傾向（※）が続いた場合の人口推移 板倉区 ~2050

※ 年齢別人口増減の2010~20年における割合が今後も続くものとして推計

● 年齢3区分別人口 (1990実績-2050推計)



● 小・中学生人口 ※ (1990実績-2050推計)



備考) ※は5歳階級別人口を基にした概算値であり、実際の小・中学生の数とは若干異なる。
資料) 総務省「国勢調査」及び上越市資料を用いたコーホート変化率法による推計値をもとに作成

地域自治推進プロジェクトの概要

・地域のことは地域で決めて、地域で実行する地域自治の仕組みの強化を目指す。

《現状に対する課題認識》

・「住民同士の支え合い」や「活気を生み出す」ような自治区単位での自主的な活動がなかなか広がらない
その要因 ⇒ 活動を企画・実行する人材の確保が困難
⇒ 地域自治区制度の下で、地域の課題を拾い上げ、地域や市に対して解決策の提案まで到達する事例が限定的

《課題解決の方向性》

・地域と市が一緒になって話し合い、市内各所の多様な資源をいかしながら地域の活力を高めていく取組を実現

《検討の観点》

・どうやって「地域のことを地域で実行できる取組」を生み出していくか
・どうやって「地域の人材」を取り込むか
・どうやって「地域のニーズ」を把握していくか



《検討の展開順序》

・現状のまま推移した場合の課題の深掘り
・合併後20年を迎えようとする今、20年後の将来を見据えた「理想的な姿」の考察
・実現するためのロードマップの策定
※現状の運用も含め、しっかりと時間をかけた議論・検討
※制度を運用していくことを見据えた丁寧な制度設計と合意形成

《検討事項・論点例》

・地域自治の活動を活性化する予算 ⇒ 【事業の検討・提案方法、評価方法】
・地域の活動団体 ⇒ 【公益的活動の充実】
・地域協議会 ⇒ 【役割の再整理】
・総合事務所、まちづくりセンター ⇒ 【地域との関わり方】
・区域 ⇒ 【設定の考え方の再整理】

《検討方法》

・総合事務所、まちづくりセンターを含む庁内での協議
・地域協議会や住民組織など活動団体へのヒアリングと協議
・他自治体の事例調査

《最終目標》

地域に住み続けることに誇りと愛着を持ち、市民生活の満足感の高揚や質の向上が図られる取組を生み出した状態

※スピード感の異なる検討課題に対しては、緊急性に応じて柔軟に対応